

2026年度 星槎道都大学 入学試験問題

[一般選抜]

一般入試 A日程(2月3日)

政治・経済

全学部 全学科

◎問題用紙 2枚
◎解答用紙 1枚

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この中を見てはいけません。
- 2 印刷の不鮮明なものについては挙手をし、監督者へ教えてください。
- 3 解答欄以外にも記入する箇所があります。(氏名・志望学科・受験番号等) 忘れずに記入してください。

政治・経済

第1問 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

a 民主政治は、国や時代によってさまざまな形をとりながら発展してきた。その過程で、人権の範囲の拡大につれてb 国家の役割もまた変化してきた。

イギリスでは c 議院内閣制が発達した。その起源は、ウォルポール内閣が1742年に下院の支持を失って総辞職したことにあるとされる。イギリスの議会は選挙のない終身議員からなる上院の(1)と、国民の選挙で選ばれた議員からなる下院の(2)によって構成される。原則として、選挙で勝利した党首が首相となって内閣を組織し、与党と内閣が結びつくことで、強いリーダーシップが発揮される。野党は(3)を組織して、次の選挙での政権交代を準備する。イギリスは選挙制度として(4)を採用しており、(5)のもとで政権交代が繰り返されてきた。

議院内閣制と比較して、大統領制は徹底した(6)を意図して作られた政治制度である。アメリカの大統領は、法案提出権や議会に対する解散権を持たないが、議会が可決した法案に(7)を発動することや議会に教書を送ることができる。

フランスやロシアなどは、大統領と首相が並存する(8)を採用している。

第二次世界大戦後のアジア諸国では、独裁政権や軍事政権が成立した。そこでは、d 経済成長を優先させるため表現の自由などの人権を制限する政治が行われてきた。そのようななか韓国や台湾などでは、1980年代以降に政治的自由を求める市民の運動が活発化し、民主化が実現した。e 民主化を求める市民の動きは北アフリカや中東地域にも波及し、2010年以降にチュニジアやエジプトなどで独裁政権が倒れた。

問1 文中の(1)～(8)に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

一党優位制	比例代表制	権力分立	参議院	影の内閣	国民院
元老院	二大政党制	衆議院	小選挙区制	権力集中	再提出権
次の内閣	大選挙区制	大連立	貴族院	多党制	中間内閣
国民主権	半大統領制	庶民院	挙国一致内閣	賛成権	拒否権

問2 下線部aについて、民主政治とは何か、「基本的人権」と「主権者」という二つの言葉を使って、簡潔に説明しなさい。

問3 下線部bについて、国家の役割は、19世紀から20世紀にかけて「夜警国家」から「福祉国家」へと変わってきた。それぞれの国家の特徴を簡潔に説明しなさい。

問4 下線部cについて、日本の議院内閣制における権力の抑制と均衡について衆議院と内閣の権限上の関係から、簡潔に説明しなさい。

問5 下線部dのような政治体制を何とよぶか、答えなさい。

問6 下線部eについて、この独裁政権が倒れた出来事を何とよぶか、答えなさい。

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

資本主義制度が本格的に発達する以前から、国家による貧困者の救済は行われていた。特にイギリスでは、16世紀半ばころから「救貧院」が設けられ貧困者の扶助と自立へむけた活動が実施されていた。1601年の(1)は、貧民救済のために定められた最初の体系的な法制であるといわれており、近代の社会保障制度の礎を築いた。

産業革命を経て、徐々に資本主義が根付いていくにつれて貧富の差は拡大した。また、景気循環などが貧困の理由の一つとして数えられるようになった。19世紀に入りドイツの宰相(2)は、(3)により社会的運動を抑制する一方で、労働者保護を目的とする世界最初のa 社会保険制度を整備した。さらに1919年には、生存権保障の規定を含む(4)が制定された。一方イギリスでは、19世紀末から20世紀初頭にかけてフェビアン協会に代表される社会主義団体が、国家の社会保障に思想的な影響を与えた。なかでも中心的人物であったウェッブ夫妻は、労働者に対して必要な最低限度の生活水準を保障すべきであると主張し、それまでの「救済」という枠組みを超えて、b 社会保障概念を「権利」としてとらえる視点を示した。この理念は、社会保険や公的医療などを含めた包括的な貧困対策計画をうたった1942年の(5)報告の思想的基礎となり、c イギリスの社会保障理念の確立に寄与した。

社会保障の「権利」という観点から、国際労働機関(6)は1944年のフィラデルフィア宣言により、生活水準の向上や社会福祉の充実などを盛り込んだ社会保障の国際的原則を示した。また、1948年に国連総会により採択された(7)により、基本的人権を基礎とする社会保障の理念が示された。

問1 文中の(1)～(7)に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

労働者憲法	ロビンズ	WHO	ビスマルク	WTO
ケインズ	ワイマール憲法	UNESCO	貧民保護法	人間環境宣言
エリザベス救貧法	シュモラー	ILO	ヴィルヘルム	社会主義者鎮圧法
メッテルニヒ	貧困救済法	世界人権宣言	工場法	戦時社会統制法
治安警察法	ベバリッジ	児童の権利条約	ギゾー	ドイツ帝国憲法

問2 下線部aについて、現代日本の社会保険に含まれないものを次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

ア. 学資保険 イ. 医療保険 ウ. 労災保険 エ. 自動車保険 オ. 年金保険

問3 下線部bについて、日本の社会保障の四つの柱として「社会保険」と「公的扶助」以外の二つは何か、答えなさい。

問4 下線部cについて、1942年の報告に基づきイギリスは、一生を通じて「最低限度の生活水準」を保障するという理念を掲げた。その際使われたスローガンはどのようなものか、答えなさい。

問5 政府が国民全員に一律最低限の生活費を支給するという制度を何とよぶか、カタカナで答えなさい。

問6 近年先進国では、少子高齢化が進んでいる。これによって、生じると考えられる財政的問題を高齢者と若者の二つの異なる観点から、簡潔に説明しなさい。